

# IIA基準から見た 日本企業の内部監査の課題と対応

「内部監査実務マスター・コース」〔第2回開催分（全9会合）〕

- 日 時 ● 2016年10月18日（火）14:00～17:00
- 会 場 ● 東京・麹町 企業研究会『セミナールーム』
- 講 師 ● 藤井 範彰氏 公認会計士・公認内部監査人

30年余りの大手監査法人勤務のうち、前半は主に会計監査に従事し、後半は国内外の数多くの企業に対する内部監査の支援やコンサルおよび外部評価、J-SOX・US-SOXの内部統制支援、不正調査およびリスク管理等のアドバイザリー業務の経験を経て、2012年、新日本有限責任監査法人シニア・パートナーを退任し、現在はUDトラックス株式会社監査役/ABボルボのコーポレートオーディット・ダイレクターとして監査実務を継続中。一方で内部監査関連の執筆や講演活動にも従事、豊富な実務経験をベースに具体的事例を交えた実践的でわかりやすい語り口で好評。最近の著書「内部監査の課題解決法20」税務経理協会、論文「海外監査の検討課題～成熟度レベルに応じた問題認識と対応」一般社団法人日本内部監査協会「月刊監査研究」2013年11月号、「リスクマネジメントに対する内部監査の対応～最適化シナリオに向けて」同2012年3月号掲載。公認会計士、公認内部監査人、米国公認会計士（現在 inactive）。

## ●プログラム●

### ●講義／IIA基準から見た日本企業の内部監査の課題と対応<14:00—16:00>

内部監査の価値の向上を検討する上でベンチマークとなる他社の情報は重要です。特に内部監査のどのような分野で各社がどういった課題を認識しそれにどう対応しているかの知識は有用です。そこで日本の大企業や海外のグローバル企業について、内部監査の体制評価や品質評価の結果などで報告された問題点をIIA基準の分野ごとにまとめて紹介します。また日本企業の内部監査に特徴的な課題についてその改善の方向について説明します。

併せて、IIA基準が規定する内部監査の外部品質評価について、世界的な調査でもIIA基準を全面的に適用すると回答する企業が3割か4割にとどまる中で、企業としてこれにどう対応するか、もし品質評価を受けるとすればどのようなことに留意して結果をどう活用するかなどを解説します。

1. 内部監査の外部評価で指摘された課題の内容  
～日本企業と海外企業のIIA基準分野別紹介～
2. 日本企業に典型的に見られる重要課題と対応の方向
3. IIA外部評価制度の概要と企業としての対応、外部評価の活用法と準備

### ● 講義をベースとした（グループ）ディスカッション&総括コメント <16:00—17:00> ～自由討議・意見交換の中から課題解決のノウハウ、ヒントを探り実践に繋げていただきます～

## ●参加要領●

### ●受講料：1名（資料代含む）

正会員	28,080円	一般	31,320円
-----	---------	----	---------

〔本体価格 26,000円 本体価格 29,000円〕

\* 会員企業一覧は以下の当会のホームページにて、ご確認いただけます。http://www.bri.or.jp

申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あて FAX または E-mailにてお送りください。

折り返し、受講票・会場略図・請求書をお送り致します。

※お申込後のキャンセルは原則としてお受けしかねますので、お申込者をご出席頂けない際は、代理の方のご出席をお願い申し上げます。

### ●申込先（社）企業研究会

担当)居代 E-mail:ishiro@bri.or.jp

〒102-0083 千代田区麹町 5-7-2

TEL 03-5215-3516/FAX 03-5215-0951～2

160188	2016 10/18	内部監査実務マスター・コース	
会社名			
住所	〒		
TEL	FAX		
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			